

第1学年外国語（英語）科 学習指導案

茨城県立****学校

指導者 ** **

1 「論理・表現I」における「話すこと [発表]」の目標

イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。

2 単元名 Unit 4 Water supporting our lives (FACTBOOK I 桐原書店)

3 単元を通じた「話すこと [発表]」における目標及び評価規準

(1) 目標

発展途上国の問題に対処するための道具や技術の使い方について、読んだり聞いたりしたことを基に、情報や考えなどを具体例などとともに話して伝えることができる。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報や考えを述べるために必要な語彙や表現(受動態)、音声等を理解している。 ・道具や技術の使い方について、具体例などとともに話して伝える技能を身に付けている。	聞き手に自分の考えを理解してもらえるように、発展途上国の問題に対処するための道具や技術の使い方について、具体例などとともに話して伝えている。	聞き手に自分の考えを理解してもらえるように、発展途上国の問題に対処するための道具や技術の使い方について、具体例などとともに話して伝えようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

社会的な問題（水をめぐる問題）を扱い、生徒が水問題を自分事としてとらえられるよう意識の変化を促す。言語材料としては受動態を扱い、生徒が能動態との違いに気づき、状況に応じた表現を身に付けることがねらいとなっている。7月までの既習事項として完了形があるため、動詞の過去分詞を使用するという共通点や違いについても着目させたい。

(2) 生徒観

1学年全体を対象とした意識調査（令和5年*月実施）では、英語が「好き」または「どちらかと言えば好き」な生徒が*%であるのに対し、「得意」または「どちらかと言えば得意」な生徒は*%にとどまっている。また、4技能のうち「話すこと」が最も得意な生徒が*%であるのに対し、「話すこと」を最も苦手とする生徒は*%である。このように「英語は好きだが苦手」という生徒が多く、コミュニケーション活動についても同様に「好きだが苦手」という生徒が多い。習熟度としては、*月時点で学年の*%の生徒が英検3級以上を取得しており、同じく学年の*%は準2級以上を取得している。一方で、学習習慣としては*%の生徒が毎週実施している単語テストのための学習に最も多くの時間を費やしており、授業の予復習の実施状況は芳しいとは言えない。

(3) 指導観

本単元では生徒たちが苦手とする「話すこと [発表]」に焦点を当てているため、評価用の動画撮影の前に入念な準備が必要とされることが予想される。*人在籍のクラスであることから個別の発表を限られた時間で全て実施することが難しいため、4人グループの中で発表したものを動画で撮影させ、Google Classroomで提出させる形で評価を行う。その際、グループでの発表の前にペアで練習しリフレクションを行うことで、自信をもって堂々と発表することを促したい。

5 単元の指導計画（8時間扱い）（○：評定に用いる評価、●：学習改善につなげる評価）

時間	学習内容・活動 (■：ねらい、丸数字：言語活動、※：評価方法)	知	思	態	備考
1	<p>■水をめぐる問題について知り、理解を深めることができる。</p> <p>①Small Talk (How much water do you drink a day?)</p> <p>②Speak (1) (相手が知らない情報についての説明)</p> <p>※観察</p>		●	●	・導入として TED Ed の動画を視聴する。
2	<p>■受動態の使用場面について理解し、文を作成したり読み取ったりすることができる。</p> <p>①Dice Talk (すごろくを使用した会話活動)</p> <p>※観察</p>	●			・1時間目に視聴した動画の表現を活用する。
3	<p>■問題解決のために使われる道具について知り、紹介することができる。</p> <p>①Picture Talk (自分の撮影した写真について1分で話す)</p> <p>②Speak (2) (問題に対処するための道具の紹介)</p> <p>※観察</p>		●	●	
4	<p>■発展途上国の問題に対処するために活用されている道具や技術について調べ、それを紹介するプレゼンテーションを準備することができる。</p> <p>①Treasure Talk (身の回りのものについて1分で話す)</p> <p>※観察</p>	●		●	
5	<p>■聞き手に自分の考えを理解してもらえるように、発展途上国の問題に対処するための道具や技術の使い方について、具体例などとともに話して伝えることができる。</p> <p>①プレゼンテーション練習 (ペア)</p> <p>※観察、生徒による相互評価 (フォーム)</p>	●	●	●	・発表がただの暗唱とならないよう、日本語メモを活用して英語のスク립トを見ないようにする。
6 本時	<p>■聞き手に自分の考えを理解してもらえるように、発展途上国の問題に対処するための道具や技術の使い方について、具体例などとともに話して伝えることができる。</p> <p>①Picture Talk (自分の撮影した写真について紹介する)</p> <p>②プレゼンテーション (グループ内で撮影)</p> <p>《本時の流れ》</p> <p>(1) Warm-up (Picture Talk)</p> <p>(2) 前時のパートナーからもらったフィードバックを基に個人で練習する。(3分)</p> <p>(3) 4～5人グループで一人ずつ発表を行う。前時のパートナーの動画を撮影して、Google Classroom 経由でアップロードする。</p> <p>(4) グループメンバーの発表に対する評価を、それぞれ Google Document 上の Evaluation Sheet に入力する。</p> <p>(5) グループの代表となるプレゼンテーションを決める。</p> <p>※アップロードされた撮影動画の Evaluation Sheet を用いた評価</p>	○	○	○	・原稿の英語は評価せず、話されている英語を評価する。

7	<p>■他のグループのプレゼンテーション動画について、良い点などについて英語でコメントを送ることができる。</p> <p>①他のグループのプレゼンテーション動画を見て、一番良いと思うものに投票し、その理由などについて Evaluation Sheet にコメントを書く。</p> <p>※観察、生徒による相互評価 (Evaluation Sheet)</p>		●	●	・自分の発表に取り入れられる点はないか考える。
8	<p>■受動態の用法に対する理解を深め、文を読み取ったり作成したりすることができる。</p> <p>①Dice Talk</p> <p>※観察、作成した英作文</p>	●			
後日	ペーパーテスト (定期試験)	○	○	○	

6 パフォーマンステストについて

(1) テストの内容

プレゼンテーション (動画撮影)

(2) 採点の基準

「思考・判断・表現」については、3つの条件をすべて満たしていれば「おおむね満足できる」(b)とする。

条件1：発展途上国の問題に対処するために活用されている道具や技術について、どんな問題に対処するためのものか示している。

条件2：どのように活用されているのか具体例を示している。

条件3：スライド等の視覚情報を有効活用し、話す内容を補助している。

観点別の採点基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> 語彙や表現が適切に使用されている。 聞き手に分かりやすい音声等で話している。 	3つの条件を満たしたうえで、関連した情報や自分の考えを詳しく述べて伝えている。	3つの条件を満たしたうえで、関連した情報や自分の考えを詳しく述べて伝えようとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> 2～3箇所の文法的な誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使っている。 理解に支障のない程度の音声等で話している。 	3つの条件を満たしている。	3つの条件を満たそうとしている。
c	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。